



バイオマスプラスチックを使った容器包装の推進

ユニーでは、地球温暖化防止と廃棄物削減のために、バイオマスプラスチックを使った包装容器の採用に取り組んでいます。食品販売をおこなっている147店舗で、鶏卵用のパックおよびフルーツ用のプラスチックケースをバイオマスプラスチック製のものに換えて販売しています。さらに一層の普及を図るため、店舗内のポスターやPOP、ホームページでの紹介、環境教育などを通じ、「バイオマスプラスチックの認知度の向上」にも取り組んでいます。



フルーツ用プラスチックケース



鶏卵用パック

バイオマスプラスチック堆肥化への取り組み

フルーツ用のバイオマスプラスチックケースではレジでの回収を経てリユースしたのち、堆肥としてリサイクルする実証実験にも取り組んでいます。



農林水産省「バイオマス利活用フロンティア推進事業」に協力

「バイオマス利活用フロンティア推進事業」とは、バイオマスプラスチックが近年注目を集めているにもかかわらず、生産コストなどの面から普及が進んでいない現状を踏まえ、政策目標を国民にわかりやすく明示した上で予算を効率的に活用する「成果重視事業」として農林水産省が進めているものです。研究開発、市場開拓および生産施設の整備と連携を図り、バイオマス由来プラスチックの導入実証試験や製品の導入などを通じ、地域の需要喚起につなげるもので、ユニーもその推進に協力しています。



バイオマスプラスチック鶏卵パックについて



中央化学株式会社
北陸工場 工場長
畔高 孝一

中央化学(株)は次世代の新素材としてバイオマスプラスチック・ポリ乳酸製品の市場開拓を進めてきましたが、このほどユニー(株)の特殊卵「きらら10個入り」にバイオプラスチック製鶏卵パックが採用されました。
このバイオプラスチック製鶏卵パックは、

透明タイプで、従来のPET樹脂製品に比べて実用使用最高温度の低い点が課題とされていますが、夏季などの輸送時における車両内の温度上昇対策として、専用のダンボール箱を採用するなど、バイオプラスチックに適した物流対策を確立しました。